常磐毎日新聞

日刊

夕刊 五月廿五日

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治 福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二二〇番

天氣豫報

今晩は北東の風雨
明日は北西の風曇小雨天氣次第に良くなる

新市民の喜び
今秋鎌田橋の竣工と相待つて大々的祝賀
六月一日は內祝ひの形式

昨報―市制祝賀の企てに關し昨日市制調査委員會及び區長會が協議の結果決定した計劃は大要左記の如くで準備期間や費用の關係から總べては內祝ひの形式に止どめ今秋十月頃を期し對外的な大祝賀會を開催する豫定で若し夫れ迄に公會堂の竣工を見るに至らなかつた場合は工費十七萬圓を投じた濱街道第一の鎌田橋が九月頃竣工の豫定である爲めその披露を兼ねて市制祝賀を決行全國的に『大平市』の名を號令すると

宿願成れり
夜半祝意の爆發
嚴かな町への別離
平市民の胸に響く百八の鐘

星霜五十年の町制と別離を告げる平町は卅一日夜半十一時迄に縣社子鍬倉神社々頭に靑沼町長を初めとし市制調査委員、區長、各種團體長其他町民有志參集、山部神官の神祠奏上に依つて嚴肅に別離の奉告祭を執行、深更零時右の式が終了すると同時に市制のゴール入りを全市民に知らせる爲め城山の鐘衛堂から除夜の鐘の例にならつて百八の鐘を衝き鳴らすと共に全市のサイレンや寺院の鐘も是れに和して夢まどらかな新市民の胸に反省を呼び覺し同時に大平市への行進譜たるべき數發の煙火を打ち揚げ多年の宿願成つた喜びの爆發を高かせ先づ新市への門出に祝意を表すると

意義深き誕生の當日
神前の奉告と簡素な祝賀宴
地域を越えて固い握手

平市誕生の意義深き晴れの六月一日は午前九時子鍬倉、飯野八幡の兩縣社に於て地域を越えて同じ市の許に固き握手を交はした平、平窪の兩大字の新市民有志が市制奉告祭と併せて今後の進展向上を祈願し午前十時から平第一小學校講堂に祝賀會を開く由であるが同祝賀會は別項の如く內輪的な簡素なものとし約四百人を招く豫定で豫算は三百圓である

灯の海旗の波
兒童の交歡

平と平窪の精神的結合は第二の市民の連繫に依つて一層拍車を掛けるものとし平の三小學校と平窪小學校とが聯合しての旗行列は一日午前十一時から夫々校門を出發、市街を旗の波と歡聲に依つて埋め盡し夜は各區主催に依る各團體や中等學校生徒參加の提灯行列に依り喜びの灯を交歡し一方消防組員は自動車ポンプに分乘して平、平窪間を疾驅し祝平市制のビラ一萬枚を撒布するのは既記の如くである

平窪村を送る夕
けふ協議

平窪村は今二十五日午前十時から平市實施に伴ふ最後の村會を開き豫算更生並に財産處分の件を附議終つて五月三十一日の平窪村を送る夕の催しに就いて協議した

米穀組合議題提出

平米穀商業組合は今二十五日午前十時から福島市隈畔縣敎育館に開催された本縣商業組合協會主催縣下最初の商業組合大會に左の協議題を提出した

商業組合地區外の營業者が組合の統制を攪亂する場合に於ても商工大臣の統制命令を適用し得る樣商業組合法第九條改正方を其の筋へ要望の件

庭球と排球

磐女は明二十六日放課後二年の庭球及び三年の排球試合を催すと

賭博罪罰金

平町字研町一一靴修繕業木村太三郎(四八)草野村大字下神谷字宿六六酒菓子小賣業菅原幸太郎(四五)の兩名は去る三月中前後數回に亘り前記菅原方で外數名と花札賭博を開張今二十五日平區田中判事から大村は科料十五圓、菅原は罰金三十圓に各略式命令を以て處分された

スポーツ代表の豪華的催し
市制を祝つて
磐陽野球大會開く

石城審判協會では平町の市制施行とタイアップして躍進スポーツの豪華的催しを企圖し昨夜阿部會長邸に役員會を開き協議したがその結果來月十三日頃を期し磐中グラウンドに磐陽野球大會を開催し優勝チームをして他地から招聘した强豪チームと輸贏を決せしめファンの血を沸かせる事となつた

同大會は今回を以つて十一回目に相當するが市制後最初の大會である爲め回數を追はずに市制祝賀の大會とし他地チームは多分仙鐵或ひは日立の何れかに對して招聘の交渉を進める筈

尚參加チームは三大炭礦を初めとし郡下の覇者九チームが顏を合せる豫定で近く主將會議を開きスケヂールを決定する由新興氣運漲る新平市の代表的スポーツ飛躍篇として待望されて居る

軟式野球
選手權大會

體育協會石城支部主催の郡下一般軟式野球選手權大會は六月十三日平商、第一兩球場に開催と決定目下準備中

郡山遠征の磐中優勝
攻守共に鋭い迫力

縣下中等學校野球界の雄磐城中學校野球部は二十三日郡山に遠征、安中球場に於て午前十一時から對安中、午後二時半から對郡商と戰ひを交へたが磐中軍攻守共に均衡とれ鋭い迫力を所有してゐるのに對し安中は打擊振はず、郡商は守備に脆く左のスコアーを以て磐中の連勝に期した（球審石田森宣）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
安中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐中	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
郡商	0	0	0	0	0	0	0	1	0	I
磐中	1	0	1	4	5	0	0	1	A	12A

濱三郡下
中等野球戰

磐城時報社後援の濱三郡下中等學校野球戰は來月六日磐中球場に擧行される

待遠しい修學旅行
薰風と共に學童等の旅
生徒約六百名が日光から東京へ

薰風と共に學童の樂しい汽車の旅……平第一、第二、第三各小學校尋常科六年生約六百名は十三日臨時列車七臺に分乘日光から東京への修學旅行に出發するプランに依れば十三日午前五時五分平驛發、水戶、友部、小山、宇都宮を經て午前十時廿七分日光に到着、徒歩で東照宮に至り續いて二荒神社や三氏廟を參拜、寶物殿其他を拜觀、日光驛に引返して午後三時卅四分出發、上野驛には薄暮の同六時十九分到着、左記驛前旅館に分宿

第一校かすみ館、第二校桐屋旅館及び榮屋旅館、第三校都乃田館

翌十四日は遊覽自動車を走せて宮城、靖國神社、明治神宮、乃木神社、上野公園、動物園等を一巡して市內を見學、午後四時卅分上野驛を發して平驛には同八時五十分到着の豫定で兒童達は今から樂しい旅行を待ち焦れリクサック等を用意し大騷ぎである、因に費用は大體兒童三圓、父兄七圓卅錢であると

甥殺しに懲役七年
けふの判決

既報懲役十年を求刑された勿來町の甥殺し犯人勿來町大字酒井字堀ノ內四三荒井三郎(四二)に係る殺人及び殺人未遂事件の判決は今二十五日午後一時から平支部に於て中島裁判長から懲役七年を言渡された

立ん坊列車を緩和する試驗
臨時急行を增發

昨今の常磐線各列車の旅客が膨脹し殊に急行の如きは立ん坊列車の非難をその儘受けてをり更に暑休に入ると觀光客、歸鄉する學生等で旅客の急增は豫定の事實で國鐵ではこれら急增する旅客緩和のため暑休直前七月一日より常磐線廻り靑森行臨時急行を增設する事に決定即ち

上野發午後七時、靑森着午前七時四十五分の下り二〇一、靑森發午後十時、上野着午前十時二十五分の上り二〇二列車の直前に右と同樣の不定期急行を新設する事になつたが水戶運輸事務所運轉係では右三急行の運行を圓滑ならしめるためと甲速度(急行速度)設定のため今二十五日から明二十六日にかけて上野、平間で急行列車の牽引試驗を行ふ使用者は二〇一、二〇二機關車がC五一型、牽引重量三百トンといふ現在の急行その儘である

小田氏に紺綬賞

磐城高等女學校講堂建築費に一萬三千三百圓を寄附した好間村の小田吉次氏は此程賞勳局から紺綬章並に表彰狀を授與された

平商新幹事

既報平商業學校父兄會は今二十五日左の如く新幹事を囑託した

平町馬目雅治、同市毛三郎、湯本町森猛彥

入山校爆破犯人
結局精神鑑定か
泣いたり喚いたり
平署全く手を燒く

既報入山小學校々舍の爆破を圖つた犯人相馬郡中村町新沼字大森一二〇生目下福島炭礦坑夫廣川貞治(四七)は其後平署で引續き齋藤司法主任の取調べを受けてゐるが申立が曖昧で辻褄が合はず泣いたり喚いたり昂奮してゐて手がつけられず全然調書も取れない仕末で精神に異常あるらしく結局精神鑑定を要する模樣である

公設共用栓

平水道委員會は本日午前十時より開會、城山ラヂウム湯の下に公設共用栓設置を決定

惡水を一掃
平町西部の新暗渠
竣功祝賀會

平町古鍛冶町、紺屋町、材木町を貫流して新川に放流するマンホールの集水暗渠は木澤研古區長を初め山野紺屋町、長瀨材木町、川角長橋各區長の協力に依り地元負擔金二千百圓の寄附を集めて着工、去る三月竣工の運びに至り同方部の惡水豫防の上に劃期的の改善を加ふるに至つた爲め來る廿八日午前十時から松ケ岡第一公園（雨天の際は天理敎會）に於て收支決算並に工事經過の報告に併せて祝賀會を催す由

自動車協會の―四支部聯合會―

自動車協會平、植田、四倉、富岡の四支部は昨二十四日平署に役員會を開き協議した結果平町八幡小路地內に建設されてゐる自動車檢査場の維持經營を目的に聯合會を結成する事になり役員は聯合會長に柴田平署長、副會長は各支部長と決定したが今後の事業は左の如くである

自動車檢査場の維持經營、業務上の弊害矯正の爲にする相互的節制業務上の調協幹旋若くは紛糾の調停

郡下の優良吏員
町村長會が表彰

郡下町村長會は既報の如く明二十六日午前十時から平町役場會議室に開き更正豫算其他今年度の事業に就いて協議するが當日靑沼會長から表彰される優良吏員は左の如くである

（四倉町）助役長谷川林平、書記片寄富次（小名濱）書記齋藤昇一、長瀨國三郎、村上保一郎（三阪組合）書記佐久間利三郎（平町）書記鈴木允（田人組合）書記村田屯（湯本町）收入役鈴木信顯（大野）書記荻貞造（高久）書記藁谷明、（飯野）收入役永山菊治（草野）書記大平芳孝、（下小川組合）書記草野孝七（上遠野）書記駒木根孝三

第二校の父兄懇話

平第二校の父兄懇話會は來る二十一日開催

義務敎育國庫負擔
郡下町村別

義務敎育費國庫負擔法第三條後段による本郡への今年度交付金は昨二十四日其總額十一萬四千七百五十七圓五十七錢と決定されたが各町村別は左の如く五、七、九、十一の四ケ月に分擔交付される

△泉村二、二一三△渡邊村一、一九一△植田町三、〇九三△山田村一、六七七△錦村二、三五七△勿來町四、九六四△上遠野村二、六四六△入遠野村二、一一七△川部村二、一二五△田人村外三ヶ村組合二、四八七△平町一一、二五一△飯野村一、八〇六△夏井村一、三七八△高久村一、四二二△豐間村二、〇八五△江名町二、七八二△鹿島村九八一△小名濱町五、二八六△玉川村一、一三五△磐崎村三、九七六△湯本町八、三一一△內鄕村一四、七五四△好間村七、〇六三△赤井村三、八五五△永戶村一、八五九△箕輪村一、七三三△澤渡村一、〇六八△三阪村一、五八六△神谷村一、八九四△草野村二、五一〇△大浦村二、二四七△四倉町三、九九九△大野村二、二二二△平窪村一、六一一△上小川村下小川村組合二、三三八△川前村一、七一八

平町入籍

婚姻

△材木町三二綠川滿一(二五)氏夏井村大字上大越字大乘坊五一木田ミキエ(二三)さん

JOHK

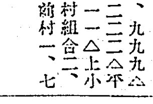
今晩の部

▼後六、〇〇 童謠劇「飛行機」BKコドモ會 大阪童謠劇研究會
▼後六、二五 國史連續講演「中世文藝の特質」岩崎小彌太
▼後七、三〇 ラヂオ風景「新商賣往來」第二日 田谷力三他
▼後八、〇五 浪花節「陸奧義人梁川庄八政國」浪花亭愛造 名古屋市公會堂中繼
▼後八、三五 史歌劇 水野廣孝 加藤千惠他
▼後九、〇〇 講演「國家總動員の要諦」松井春生
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の產業メモ

明日の部

▼前一〇、三〇 婦人の時間「なよ竹の碑の由來―會津藩殉難婦人の事蹟に就て」秋月まつ
▼前一一、〇〇 小學生尋一―二の時間 朗讀と兒童劇「姪」三河嘉こども會
▼後〇、〇五 講談「槍持の甚兵衛」一龍齋貞鏡
▼後二、〇〇 小學生尋六の時間 國史劇「一名人の苦心」大阪國史劇研究會
▼後二、三〇 家庭講座「家庭で行へる簡單な消毒法」南崎雄七
▼後三、一〇 敎師の時間「體育の生理と衛生」吉田章信
▼後六、〇〇 お話「奧州の昔話」（山形地方）柴田タカ
▼後七、三〇 講演「濟生會創立廿五週年に際して」德川家達公「濟生會の使命と救療事業の重要性」篠原內務次官
▼後八、〇〇 物語「聖なる慈雨」濱川玉枝他
▼後八、二〇 ラヂオ風景「新商賣往來」第三日 長岡輝子他
▼後九、〇〇 合唱 仙臺音樂協會合唱團

磐城セメント會社特約店
久
釜屋商店
磐城平町五丁目
電話 九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり



白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
布施長春 村瀨[illegible]映畫

―一五九―

謀反の末路（三）

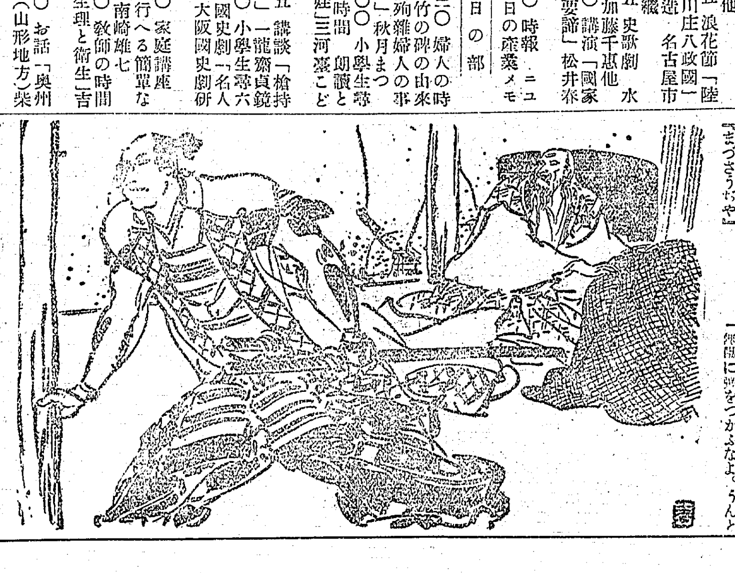
『しかし、あの[illegible]は[illegible]の魂ぢや。[illegible]はそれを[illegible]したいから、[illegible]の[illegible]府を[illegible]したいのぢや』

と、[illegible]とした[illegible]で、[illegible]な[illegible]であつた。

[illegible]はその[illegible]にすこし[illegible]まれた[illegible]であつたが、生んがための[illegible]な[illegible]として、そのまゝ[illegible]を[illegible]んでしまふことが[illegible]のやうにはれた。

『すると、[illegible]の[illegible]げは、[illegible]の[illegible]が[illegible]であつて、[illegible]の[illegible]と、[illegible]治の[illegible]は[illegible]であつたのでございますかな』

『まづさうぢや』



『では[illegible]が成功をいたしても[illegible]が[illegible]つて[illegible]りますが、それはいまから[illegible]でござるか』

『[illegible]めそれは[illegible]をしなければならない。しかし、その[illegible]は[illegible]も[illegible]に大[illegible]に[illegible]を行つて、[illegible]の[illegible]のあるものを[illegible]けなければ[illegible]ぢや』

『果してそれが[illegible]ヤピテの[illegible]のまゝに[illegible]成りませうか』

『[illegible]じて行へば鬼[illegible]も[illegible]くかな』

『さて』

と、[illegible]は宗[illegible]の[illegible]し[illegible]い[illegible]をぢつと[illegible]守つてゐる。

ちやうど[illegible]しい[illegible]の[illegible]が[illegible]打ち[illegible]の[illegible]に[illegible]つて[illegible]つた。

つゞいて[illegible]之[illegible]の[illegible]を[illegible]らして指[illegible]してゐる[illegible]が手にとるやうに聞きとられたのであつた。

宗[illegible]も[illegible]も、[illegible]として[illegible]つた。もう[illegible]は[illegible]―

つた。

『さうだ。[illegible]の[illegible]をしなければならんぞ』

と、宗[illegible]は必[illegible]な[illegible]や[illegible]資金を入れた[illegible]に[illegible]かけ始めたのであつた。

× ×

降りつのる[illegible]のなかを、十[illegible]ばかりの[illegible]の[illegible]をそろへて、つさ〳〵と[illegible]せてくる[illegible]の[illegible]れない人[illegible]。波のしぶきよ[illegible]る[illegible]の中で、[illegible]のなかの[illegible]の[illegible]が[illegible]としないが、[illegible]れてゐる[illegible]が『[illegible]』であるので[illegible]之[illegible]は[illegible]の[illegible]である[illegible]をしたのであつた。

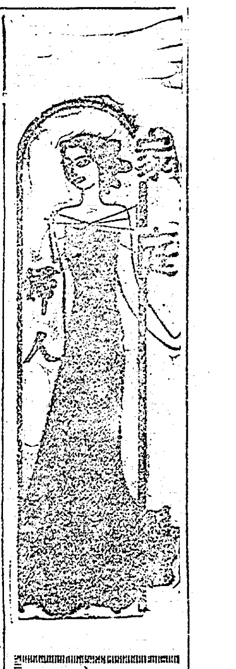
『弾のつきるまで[illegible]て、しかし[illegible]に弾をつかふなよ。うんと[illegible]らせて[illegible]いて、一[illegible]に[illegible]て』

と、[illegible]へ[illegible]り[illegible]へ[illegible]けて、[illegible]をはげましながら[illegible]をしてゐるかうした[illegible]を[illegible]に[illegible]へて[illegible]いたことは、攻め寄せたもの[illegible]には[illegible]であつた。バタリバタリと[illegible]されるのを[illegible]たので、[illegible]の[illegible]をもつて[illegible]んで[illegible]た[illegible]の[illegible]が[illegible]みだれて[illegible]た。

波は[illegible]から押してくる[illegible]の[illegible]れと、入江から[illegible]れ出してゆく[illegible]の[illegible]と打突かると、[illegible]が[illegible]るので、[illegible]が[illegible]なり合ふやうに[illegible]く起伏する。そして、可なり[illegible]きな[illegible]ばかりであるが、まるで[illegible]が浮き沈みしてゐるやうに[illegible]されてゐる。

『[illegible]は[illegible]してゐるぞ。この期を外さずに[illegible]て』

と、また[illegible]之[illegible]は[illegible]した。ド、ド、ドーンと打放す[illegible]の一[illegible]は[illegible]に[illegible]であつた。



一日一言

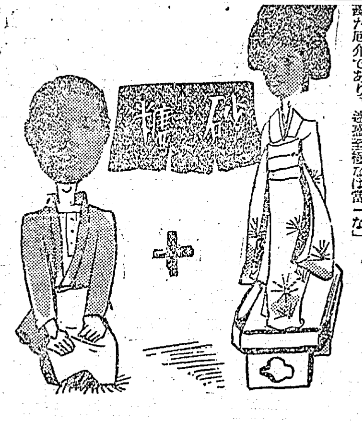
愛は高尚を
遂げしむる力なり

微笑は家庭の太陽です

貴女の朝の微笑は御主人の一日を明くします

伊丸春江

電車に乘る——と、どうかすると、行く先きを告げる乘客の聲が、騷音にけされて聞きとれぬ事もあり……うつかりしてゐて乘りすぎる人も又、終點を間ちがへて云はれるまでは一向に氣がつかないでゐる人もあり……間違へる方はたまらなくでも、毎日明けても暮れても同じ事をしてゐる車掌の方にして見れば、又か？と厭だ厄介であり、迷惑至極なは當



然——か、この時、ニコ〳〵して**親切**に切符の切り直しをして上げたり、道順を教へたりしてゐる美しい光景をまゝ見るが、中には、車掌の切符挾鋏をかさに着て、エライ權利に、ドンな、消々しい人も見受ける——勿論忙がしいであらうし、手數な事ではあらう——が、必要以上にきびしく憎たらしく、どうかすると、乘客達が、中の方まで入らないで入口に立つてゐたりすると、グイ〳〵自然に、押たふすやうにして、ひきづり込む、邪見な人もあり……戶の開閉もわざと、荒々しくガダピシあてつけてゐる無愛想なのもある

お金をはらつて乘つてゐる方の身になれば、まつたく云ひやうもなく不愉快千萬——

……◇……

處が——どんなさゝいな事にもそのいはれ原因がある

譬——一日中の會社勤めから歸つて、トタンに險惡になり家中の者にあたりちらす良人は、誰しも、外で——働き先で我慢なりがたい事があつたのであらうと、推察がつく事

……◇……

しかしながら、朝からの働き事で、ひどく考へ込んでゐる男達や——先にあげた例の通り、御機嫌のすこぶるわるい車掌氏などの佛頂面を見るたび——惑のいゝ？、私は「ハハア！妻君といさかひをしたな」と、直ちにピントひゞいて來るのが常——それが戶別訪問の巡査氏にせよ、保險の外交員にせよ、あるときは**晴々**と心氣爽快に、嬉たかく訪ふてくるかとおもふと別人のやうに無口で陰氣でいらいらしい恰好はかならずその朝の出がけに、何事かあつたはず

……◇……

こわい話が、外科醫が、前夜妻君のヒステリカルな聲をあびて來るとその日の患者はみんな多少なりともよけいに傷口を切開されてゐる、ガーゼの交換も、いさゝか手荒になるのはやむを得ない——とフロイドの說、無意識の意識の正直さに、醫者自らが驚歎さへしてゐるメスのごとく冷靜なるべき科學者もつひに人間なのである

ならば、警察事務をとる人——裁判官等々も——時間の經過に連れて家庭內での感情はやがて霧消して行くにしても、必ずその日の仕事や對人關係に影響されないではすまされない

……◇……

何と——ほんの、妻君の一びん一笑が「彼」を通して多くの人々に働きかける力の如何ばかりな重大さ——

……◇……

こゝろみに、會社にあつて、くつたくしてゐる重役諸氏の顏の裏を分析したら、要君の逆立つ御眉がグラフ線上に描かれて來る事であらう

……◇……

女の微笑——笑顏は、まさしく人類の太陽である

一人の怒りは、たしかに多くの人にその怒りをうつし、一人の笑ひは又、多くにその笑ひを移す

……◇……

女性よ——美しく、あたゝかい笑顏を、家族達にむける事だけで、いかに偉大な働きをあなた達はなしつゝあるか

……◇……

ましてや、外に**職場**を持つて終日人なかで働く夫達の疲勞し切つた神經や感情はたつた一度のゆがんだあなたの顏付きや冷たい聲音のため全身的な痛撃を受けるほど、毎日はげしい戰鬪を心にはり切つてゐる事を忘れないで上げて頂きたく

……◇……

彼氏や夫への出際のハナムケ——一日の盛い贈り物は、あなたのやさしい微笑み——あたゝかい、まなざしにまさる御馳走は無いことを

子供は正直

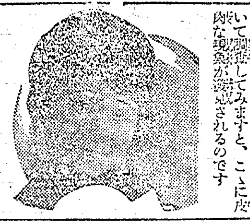
「おやつ」に就て

子供の——皮肉な答へ

◇お母さん方、如何です？

外國では、子供の間食は三歲から十歲までのあひだに訓練が施されてゐなければならぬ——といはれてゐますが、わが國の家庭ではどうでせうか、八〇〇名の兒童について調査してみますと、こゝに皮肉な現象が發見されるのです

◇では一定の時間以外には食ぬ——と質問を發して回答をとつてみますと、一定時間外には食ぬとこたへてゐるのは僅に二一パーセントしかないのです、つまり殘りの八〇パーセント近くの大多數は時間外にも食てゐる事實を自ら明かに示してゐることになります、で前に時間が一定してゐるとこたへた者の數にはまつたく信賴がおけなくなるのです



◇オヤツを食べてゐるか——の第一の質問に對しては、全體の八〇パーセント以上が食てゐるとこたへてゐますから、大抵の家庭はオヤツをだしてゐるとみとめていゝわけです、第二の質問

◇オヤツの時間はきまつてゐるかについては、五〇パーセントが一定してゐるといつてゐるので、割合規律正しいとおもはれたのですが

年齡による傾向を調査しても、何等そこに特徵が出てこないのですから、この事實はもつぱら兩親のしつけの態度が影響したものとみることが出來ます、幼兒の訓練をしてゐるやうに自分では考へてゐても、實は訓練が出來てゐない狀態を各自のお子さんによつて見せつけられたわけですから、兩親はよろしく反せいすべきでせう（東京女子專門學校山下俊郎氏）

これは小さな穴からのぞく、現代女性の「のぞきからくり」です、そこには色々な生活斷層が、女性を中心にして每日カラリ、コロリと變つて出る仕掛になつてゐます、中には[illegible]の臭氣フンプンたるものもありませうし、また春の夜の惱ましい秘話も聞こえやうといふもの、たゞそれがどんな私で皆さんに見參するか——

女學校を出たけれど

ハテは戀人の心臟めがけて

讀書の普及は、一方に失業者を出したかはりに、外國語を讀む人をもおびたゞしく生產した。

この生產過剩がもつとも幸ひしたものは、洋書店であるが、一體どんな女性がどんな方面の書物を讀むか？一寸聞いてみたい話である。

東京の或る店では、一日千人からの人が洋書部へ見えるさうであるが、婦人はその約一割の百人の見當だとある。百人の種類別は日に依つてちがふが、大體我々の豫想を裏切つて、若い奥樣が斷然多く、多いと思はれる女學生は土曜の午後に見受けられる丈で、それも雜誌のところをかき廻して、映畫俳優とにらめつこをしながら

「アラ、デートリッヒよ」

「クーパー素的ね」

といつたタグヒで買つてかへつても海の彼方のはるかなる戀人を邪けんにナイフで切拔いて、ベタベタと壁に蝶の標本みたいにピンで戀人の心臟をつらぬかうといふ殘虐ぶりである。愛するに讀むためでなく見るための雜誌となるんである。

そこで名譽心からでも自慢心からでもなく、ホントに讀んでみやうとする婦人は、女學校卒業後結婚の夢まどらかな時代までも、それも選ばれた極少數の女性といふことになる。

さて本の種類はといふと、これまで多く讀まれた小說類は、最近は家庭科學——といふやうな方面にむかつて來た。趣味から實益へ——社會の風潮は堅實な方向に目ざしてゐるわけである。

しかし何も買はずに只漠然と、その空氣を吸ひに來る女性もあるさうであるが、そんなのは店員の口から云へばすぐわかるさうですから、御用心よ。

今から注意して

秋の脫毛に備へよ

◇黑髮は日本人の生命です◇

春先にかけてフケが多くなり、表面へだけかけたブラシでは中々とれるものではありません

秋の脫け毛は今からの注意こそ肝心ですフケの特に多い方は五パーセントのレゾルチアルコールをもちひて下さい、又赤毛の髮をなほしたり

短い髮をはやく伸ばしたいとおもふ時は胡桃の實をたたきつぶして絹の布につゝんで地肌へこすりつけるといゝのです、みぢかい毛も一ケ月に七八分は長くなります、パーマネントをかけたあとの手入れもよく申されてゐますがどうも乾燥しやすいものですから、これの前後ともオイル・シャムプーやマッサージや油をつけることをわすれてはなりません

これは微弱な髮の毛にのみすべきもので毛がよわつてゐたり染たりしてゐるときにするものではありません、髮も時々刈つたりそいだりして

調髮してもらふ事は勿論必要ですが優秀なヘアドレッサアの手によつて自分に合ふ髮形をセットするのをよく見ておいて自宅でその通りに自分でやつてみるとよいとおもひます

——

「[illegible]春の大掃除が能率的にできるか？」

恒例の春季大掃除を能率的に行ふには、まづ前日に當日の準備をいたします

◉◉**前日の準備**◉◉——雜巾、ちり拂、マスクの用意、又道具類はバケツ、長短のハウキ、長柄のハタキ雜巾類など、その他床にしく新聞紙、ナフタリン或は疊を外に乾す時に要る小板等

◉◉**家具の覆ひ**◉◉さて掃除當日となれば、埃をあびせたくない食器、戶棚、桐タンスその他等には紙布等でおほひをかけます

◉◉**部屋の順序**◉◉つぎに掃除順序ですが、第一に問題になるのは何の室からといふことですが、これは荷物の多い、且つ人の出入りのはげしい居間、茶の間等から始めるべきです、それはもつとも汚いので、その埃を掃除濟みの所へおよぼさない間に、又他の掃除で疲勞せぬ前にする必要があるからです

◉◉**掃除の順序**◉◉個々の掃除のじゆん序は道具類を出したら疊を干しその間に天井のすゝ拂ひ、床はらひ床板に新聞紙、ナフタリンしき等をおこない次いで疊をしき入れます、この際天井を洗ふ事は一寸素人にむづかしいものですからパンの切端しで撫でるのがもつとも簡便です

◉◉**拭き掃除**◉◉この各室別の操作がすんだら、各道具類をふき、各室一齊にふき掃除を行ひます

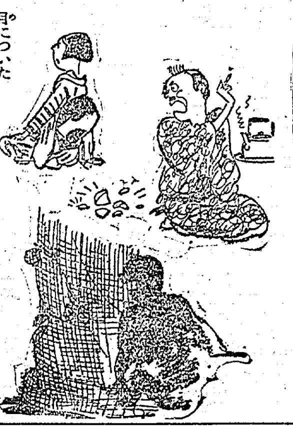
拭き方は汚のひどい汚れは醋すこしおとした水、又はうすい石鹼水でぬぐふとか、或は襖ふすまの唐紙などのあけたての時の汚い場所は一升の水に盃一分目位の硼砂を入れたもので、するとかしてきれいになめらかにしませう

◉◉**硝子みがき**◉◉ガラスみがきは勿論、埃がすべて落ちついたあとにした方が效果的です

最後に注意したい點は、春季は特に消毒が肝要ですからすくなくとも拭き掃除はリゾールを二、三滴おとした水で行ふ事、便所にはさらにリゾールをうすめず、そのまゝおとしてください

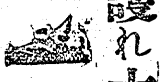
川柳漫畫

池田山花句　錦川まん六畫



目についた
女房此頃皺につき

居候たんこぶのあるカヤをつり



護れ太平洋の波

寺島征史（作）　村岡春映（畫）

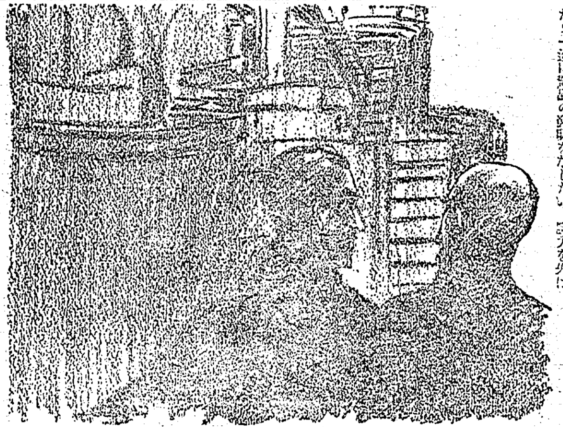
……四一五九……

怪力線（三）

特務艦と云ふのは、ピコル研究所々屬の研究艦とでもよんでいゝブリヤード號だ。

それには、もちろん海軍將兵も乘つてゐるが、大部分は研究所員だ。大旋風艦內を巧に遊弋しつゝ海戰によつて發見される軍事技術上の缺陷をつかもうといふのだつた。

ウルリツヒ老科學者は、れいによつて冷靜水のやうな顏をして始終何ごとか思ひに耽つてゐる。彼は、むかしもさうであつたやうに、いまも矢張り、アメリカの居候のためにも、大統領のためにもまたピコルのためにさへ、すばらしい兵器を發明しようと努へてゐるのではない、科學の使徒としての彼は、そんなことは眼中になく、たゞ一途に彼の發明をなしたい



と念してゐるだけだ。

新艦で海洋を巡航されてゐるときは、死のよろこびをよろこんだがアメリカの軍艦に救はれたときには、急に、自分のしかけた仕事のことを考へた。そして死ぬのがいやになつた。

ウルリツヒは、甲板をコツ〳〵歩いてゐる。

五月の陽は頭の上から降りそゝいでゐるので、北洋でもさすがに暑らしい感じがした。けれど、彼はそんな季節の變化をすら、ふりかへつて見ることがない。彼にとつては、太陽が照らうが、海霧が低迷しようが、時化に見舞はれようが、そんなことによつて、思索と研究を怠ることはない。

彼は、自然に對して不感身だ不感性なのだ。

コツ〳〵と甲板を歩いてゐると彼の歩を抑へる者があつた。

「ウルリツヒ君」

それは、クーペー博士だつた。博士は、みづから研究員を統率してこの特務艦に乘組んでゐるわけだ。

「……………」

ウルリツヒは、立どまつた。

「何うだい、妙案でもうかんだかね」

博士は、親しげに云つた。

「……………」

「君が、まだ何にもつかみ得ないうちに、わしは、すばらしい物を考へた」

「……………」

やつと、ウルリツヒは、博士の顏を見た。

「つまり、食糧困窮さ」

「うむ！」

と、いつて、ウルリツヒはうめくやうに云つて、

「そんなことなら敵で珍らしくもない」

「食糧困窮、つまり種族を絕滅せしむる菌を發見した所で珍らしくないな[illegible]も大砲でもタンクでも、あらゆる戰爭器を麻痺せしめ、一[illegible]戰鬪力を失は……

珍らしくないなぞと云ふからには、きつと君は、それにも勝る[illegible]ろしい兵器を考案したと云ふのだらう？……」

「もちろん！」

ウルリツヒは、いさゝか胸を擧つてみせた

「もちろん？……なるほど……では何う云ふ新兵器なのか」

クーペー博士は、鋭い眼をかゞやかしながら問ひ返した。

「それは、世界の科學者の夢となつてゐる怪力線だ」

「えゝ！　怪力線？……」

「さうだ、怪力線を研究してゐるものは、世界に多いが、どれも、これも理論上の怪兵器、新兵器だが、わしの考案した怪力線は、實驗上に可能性のあるものだ」

「まだ實驗にも供しない代物だらうさ」

「いや、研究所に居る頃、ひそかに研究して、すでに實驗濟みなのさ、何なら、この大旋艦を標的に實驗して見やうか」

老特務艦サンデアゴ、五千八百噸——が、僚艦からの電波によつて操縱され、北洋上を十三節の速力で旅遊してゐる。

旅舘　大[illegible]舘

私は平町出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります

主人　比佐棟雄

東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

病室增築、手術室完備

產科
婦人科
醫學博士　五十嵐雄二

平町新川町　電話三六九番

一齒科一般　保存科補綴科　繼續架工科　齒列矯正科　小兒齒科　齒槽膿漏科
一口腔外科　一レントゲン科

中野齒科醫院

平町田町（松月堂向ヒ）
電話五〇九番

院長　醫學士　中野憲次
日本齒科醫學士　西川誠

セメントは常陸（ヒタチ）

御用は！　大谷建材店

平紺屋町（電三六六番）

美味！芳醇！

たひら正宗

山崎合名會社
電話一〇番

鈴木醫院

平町田町
電話五八番

科外生徒募集

邦文タイプライター科　時代の尖端を行く現代婦人の職業
入學は毎月—隨時　卒業期間—五ケ月
器械使用材料費—月金參圓五十錢
☒卒業者の就職照會は各方面と連絡を有し斡旋致します

洋裁科　躍進日本婦人の家庭職業
入學は毎月—隨時　卒業期間—本科一ケ年
速成科—六ケ月　月謝（ミシン使用料共）金參圓五十錢　外に裁斷科三ケ月卒業の設あり
—細目表一部分拔萃—基礎縫、製図、寸法取リ方原型割出、ブルマー、スリップ、エプロン、コンビネーション、ロンパース、簡單服、セーラー、シュミーズ

入學の資格　（兩科共）高等女學校、實科高等女學校を卒業したるもの、本校本科を卒業したるもの、其他本校に於て相當と認めたるもの

文部大臣認可　平陽女學校　平町　電話四五四番

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します

入會隨時
喜多流謠曲仕舞　白土會
平町田町六九
電話一二七番

吉田眼科醫院

平町紺屋町
電話六八番

胃腸病に一大黎明

皇漢藥　神劾散

胃腸　心臟　便泌性　に！

◇景品　一圓袋一個御買上毎に神劾散二日分と景品抽籤券を差上げます

◎一等　三千圓割增附拾圓券　三本
◎二等　千五百圓割增附五圓券　六本
◎三等　神劾散八日分　百廿名樣

阿部藥店　平町田町

吸入用酸素　純度99％

度量衡　モノサシ　マス　ハカリ

計量器　體溫計　寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

◈寫眞材料一式販賣致シマス

關內藥局　電話四〇番

難波醫院

內科一般

醫學博士　難波睦

看護婦募集

平町大町新川端
電話五〇二番

肌が美しく若返へる……

（南洋特產パパイン酵素入）

三共パパコロン

專賣特許

本品の御常用はニキビ、ソバカス、シミを消し、スベスベとしたキメ細かな美肌を作るので評判です。

一本　35セン

三共株式會社特約代理店
（電話3番）西村屋藥局（平）

時計・眼鏡

壹圓以上

正價二割引サービス

期間　5月30日マデ

高橋時計店

平町二丁目